

製品名: Keap1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21357**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:70kD;Observed MW:60-70kD

抗原情報

遺伝子名	KEAP1
別名	Kelch-like ECH-associated protein 1 (Cytosolic inhibitor of Nrf2) (INrf2) (Kelch-like protein 19)
遺伝子 ID	9817.0
SwissProt ID	Q14145
免疫原	ヒト Keap1 の組み換えタンパク質

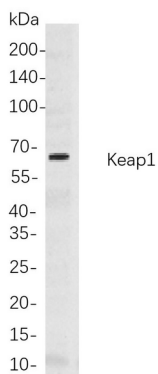
背景

細胞局在: 細胞質、核。ケルチ様 ECH 関連タンパク質 1 (KEAP1) ホモサピエンス。この遺伝子は、KELCH-1 類似ドメインと BTB/POZ ドメインを含むタンパク質をコードする。ケルチ様 ECH 関連タンパク質 1 は、NF-E2 関連因子 2 と酸化還元感受性に相互作用し、細胞質におけるタンパク質の解離後、NF-E2 関連因子 2 は核へ輸送される。この相互作用の結果、 γ -グルタミルシステイン合成酵素の触媒サブユニットが発現する。この遺伝子には、同じアイソフォームをコードする 2 つの選択的スプライシング転写バリエーションが見出されている。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



Keap1 ウサギ mAb を用いた HEK293 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。